

会社情報の適時開示に係る社内体制の状況

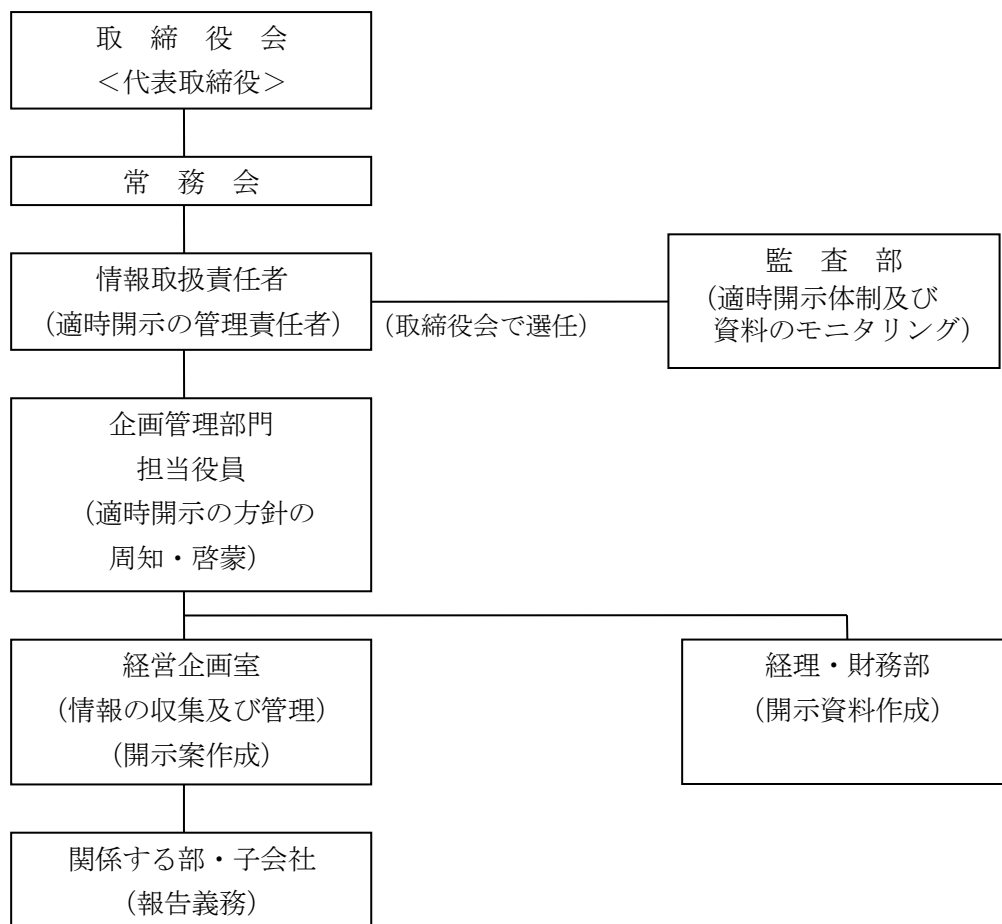
当社の会社情報の適時開示に係る社内体制の状況は、下記のとおりです。

記

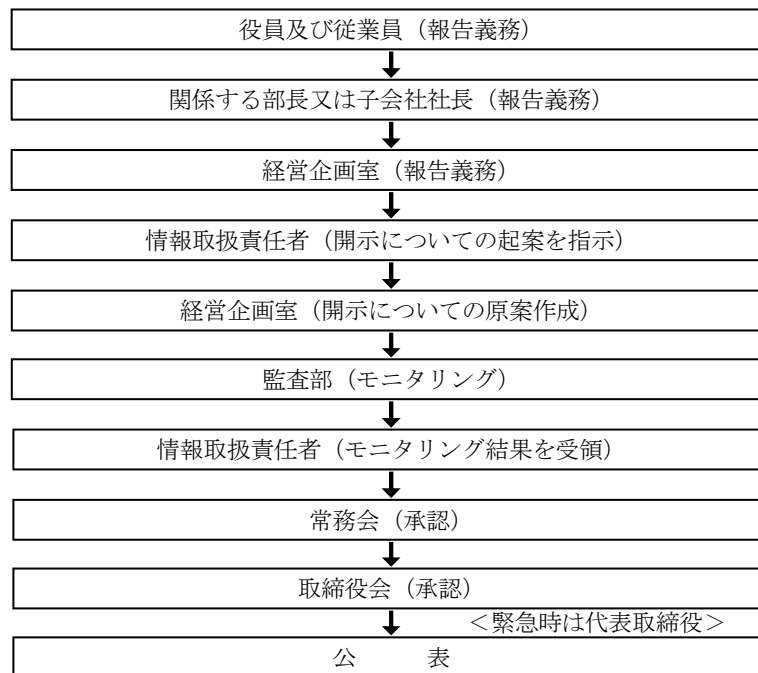
1 内部規則

神栄グループ内部者取引管理規則において、管理責任者としての情報取扱責任者の選任、内部情報管理、報告義務、公表の決定の方法及び機関等についての詳細を決定し、これに基づいてグループ内での運用を行っております。

2 関連する体系図



＊ 重要事実に関する情報管理・報告・公表までのフロー



3. 決定事実に関する情報

情報取扱責任者は当該決定事項が開示義務を伴うかどうかを判断し、必要であれば経営企画室へ具体的な内容及び時期を指示して起案させ、当該事項の取締役会による決定と同時に開示内容についての承認を経て速やかに開示を行っております。

4. 発生事実に関する情報

情報取扱責任者は当該発生事項が開示義務を伴うかどうかを判断し、必要であれば経営企画室へ具体的な内容及び時期を指示して起案させ、当該事項の取締役会又は常務会による開示内容についての承認（緊急の場合は代表取締役）を経て速やかに開示を行っております。

5. 決算に関する情報

・決算（年度末・四半期）における開示

年度末については取締役会の承認を経て会社法の計算書類等を監査等委員会及び会計監査人への提出、監査終了の後、取締役会の承認のうえ決算短信による対外発表を行い、有価証券報告書についても取締役会の承認を経て財務局への提出を行っております。また、各四半期の対外発表及び財務局への半期報告書の提出についても取締役会の承認を経て行っております。

・業績予想についての修正

直近における売上・利益の対外発表の予想数値に対して、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の変動がないかを絶えずチェックし、変動する見込みが確実になった段階で、取締役会による承認を経て開示を行っております。

・配当予想についての修正

直近における配当の対外発表の予想数値に対して、最終的に見込まれる損益・財務の状況及び当社の配当政策等を勘案して変動する見込みが確実になった段階で、取締役会による承認を経て開示を行っております。

以上